

平成11年度第1回日本生物物理学会運営委員会議事録

日時：1998年10月4日（日）12：00～13：00

場所：九州大学六本松キャンパス新1号館5階会議室

出席者：郷通子次期会長、七田・川戸両副会長、桐野編集実行委員長、新田北海道支部長、鈴木東北支部長、太和田九州支部長、市川年会実行委員長・大木次期年会実行委員長、木寺・楠見（代：嶋本伸雄）・重定・田之倉・豊島・中村・藤吉・由良各委員、山田年会実行委員、永田学会事務局秘書

報告事項：

1. 平成11年度年会準備状況（市川）

・開催地・形態

和光市文化会館で平成11年10月3日～6日の日程で開催予定。3日は準備と一般対象者向のイベントを検討中。シンポジウムは1200平米と400平米の部屋で合計12件、ポスターは500平米に100枚のパネルとホワイエに50ないし60枚にパネルをたてて実施の予定。パネル両面を使い3日間で900件の掲示が可能。展示は広場に大テントを張って行う予定。休憩室も大テント内の予定。口頭発表が必要ならば理研の会議室（100人収容）を利用する。ただし会場との間は徒歩20分かかる。会議室は楽屋部屋を利用する。500台駐車可能の駐車場があるので自動車での参加は可。全運営は理研のメンバー10人ぐらいで行う予定。

・プログラム

タイトルと要旨の受け付けを別々にするとトラブル（タイトルが変わっている）があるので、タイトルと要旨の締め切りを同時にすることになった。会期中ポスターを充実させるために、12：00から14：30ぐらいまでを昼休みにする。ポスターは前日の17：00に張り出すようにしてはどうか。ポスターのプレビューをどうするかについては、ポスター会場でグループに分かれて行うことで検討することになった。ビデオセッションについては、ポスター会場内で機器を複数台持ち込んで行うことで検討することになった。口頭発表を行うか否かは検討事項となった。

・費用

会場代は1日約35万円なので全日程で200万円はかからない見込み。

議題

1. 新運営委員の役割分担 (川戸) 資料：議1

平成11年度の運営委員役割分担の説明があった。次回の運営委員会で決定する。

2. 次期編集実行委員長候補の答申 (郷通子) 資料：議2

次期編集実行委員長候補および投票の説明がなされた。過去に実行委員長をやった人は避けるべきではないかとの意見がでたが、候補者内に該当者はいないことの説明があった。ただし、神谷候補は美宅委員長時代に副委員長をしていた。桐野現編集実行委員長よりリアライズ社の評価をぜひ石渡候補にしてもらいたいとの意見がでた。石渡候補は吉岡書店からリアライズ社へ出版業務を移行する際に関与していたことの説明があった。投票の結果は石渡候補11票、伏見候補1票であった。選考委員長は、この順位に従って候補者と交渉し、受諾した候補者を次期編集実行委員長の最終候補とする事が確認された。次回運営委員会において最終決定する。

3. 学会事務局について (中村)

今年度の予算から事務局設置用に2千万円取っておくことが可能であることが説明された。次回運営委員会で具体的な提案をすることになった。松本会長・郷通子次期会長・中村経理で話し合いをすることになった。名古屋で事務局を持つことが有力。事務局を持ってないとしても、パソコン、ファックス等は学会の費用で所有するようすべきだろう。学会事務局を持つ短所として税務署に目を付けられて無理に法人化させられ、法人税を払う羽目になるかもしれないことが指摘された。

4. シリーズ・ニューバイオフィジックスII刊行について (桐野) 資料：議4

資料には書かれていないが、もう1巻、進化工学を増やす予定であることが説明された。

5. ICBP2001 準備金について (郷通子) 資料：ファックスのコピー

埼玉大学伏見先生より第4回 Biological Physics 国際会議に生物物理学会が保持している第1回東アジア生物物理シンポジウム(西播磨)の余剰金から50万円の援助の要請があったことの説明がなされた。全員一致で承認された。

6. 英文オンラインジャーナルの刊行について (郷通子) 資料：ファックスのコピー

埼玉大学伏見先生からの生物物理学会がオンラインジャーナルを発行する件の提案があったことが説明された。七田会誌委員の責任のもと会誌委員会にのせることとなっ

た。次回以降の運営委員会の審議事項となった。特に生物物理学会が英文原著論文誌を持つことに関しては以前に検討し、発行しないことになっている。その際の経緯を知る必要がある。会誌のタイトルとアブストラクトだけをオンライン化するのはどうかと提案があった。会誌への投稿及び審査をインターネット上で行うのはどうかという提案があった。詳細の調査が必要との提案があり、郷通子次期会長が伏見先生と連絡を取り次回運営委員会の報告事項とすることになった。

連絡事項

1. 次回運営委員会の日程について (川戸)

次回運営委員会は11月28日(土)に名古屋大学内のセミナー室で行うこと予定。新運営委員の所在地が西に偏っているので名古屋が開催するのは妥当。次回には今年度の年会の総括を行う予定。

2. 2000年年会の準備状況 (大木)

東北大学川内北キャンパスで9月15日から17日を予定。準備組織をすぐに起こす予定。ただし川内北キャンパスの改修工事が行われる可能性があるため、その際は青葉山地区の工・薬・理学部を利用して10月に分散開催の予定。試験期間の都合で日程を変更せざるを得ない。9月だと暑いのではないかと意見が出たが、大学を利用する限り試験休みの都合で日程変更が不可能とのこと。会場の机が固定しになっていないかの確認が必要であることが指摘された。次回運営委員会には組織委員長が出席し、組織委員を発表することになった。